

平成30年度  
子ども・学生未来会議（子ども議会）  
会議録



開催日時：平成30年12月25日(火)13時30分～

場 所：太宰府市役所5階 本会議場

主 催：太宰府市教育委員会 社会教育課

平成 30 年度 子ども・学生未来会議（子ども議会）

目次

実施要項	1
生徒会市内各中学校代表者一覧	3
出席者名簿	4
質問通告者一覧表	5
議事室席次表	7
議事録（一般質問のみ）	
太宰府中 3番 杉本 八海議員・4番 米湊 咲希議員	10
太宰府中 5番 上村 龍一議員	11
太宰府中 6番 児玉 堯議員	11
太宰府東中 12番 本多 史弥議員	16
太宰府東中 13番 久保 良雅議員	17
太宰府東中 14番 入江 響議員・15番 福村 彩月議員	17
学業院中 1番 佐々木 柊太議員	20
学業院中 2番 井上 毅人議員	20
学業院中 11番 森 奏海議員・10番 レイヤード・アンガス翼議員	20
太宰府西中 8番 江夏 希海議員	25
太宰府西中 9番 城代 三四郎議員・7番 山ノ内 尚議員	25
太宰府西中 16番 岩佐 美稲議員	26
写真集	35

## 平成30年度「子ども・学生未来会議（子ども議会）」実施要領

### 1 目的

選挙権年齢の18歳引き下げにともなって主権者教育の重要性が強調され、高等学校を中心にしながら、子どもたちの発達段階に応じて実践が展開されている。

この主権者教育を推進していくためには、自分たちが社会のありようを決める権利と責任を有しているという意識、社会を担っていく当事者としての「主権者意識」を醸成するとともに、自分自身が課題を多面的・多角的に考え、自分なりの考えを作っていく力を育むことが重要となってくる。また、根拠をもって自分の考えを主張し説得する力を身に付けていくことも併せて求められている。

そこで、次世代を担っていく子どもたちが、自分たちの住んでいる太宰府市の議会の仕組みを学んだり、子ども目線で考えた自分たちの普段の生活から感じた市政に関する疑問やふるさと太宰府をよりよいまちにしていく思いや意見を、子ども議員という立場から、直接市長に質問や提言をする「子ども議会」を疑似体験したりすることは、子どもたちの主権者意識を高める上で非常に意義深い活動であると考えられる。

### 2 開催日時・場所

- (1) 日 時：平成30年12月25日（火） 13時30分～16時30分
- (2) 場 所：市役所 本会議場（5階）

### 3 会議の対象者（子ども）

- 対象者：市内4中学校の中学生（※別紙名簿参照）
- 募集人数：16名程度（生徒会役員4名／1校）

### 4 会議の対象者（行政）

- 市長、副市長、教育長、部長
- ※議員さんについては希望参加とし、傍聴席に座ってもらう。

### 5 当日までのスケジュール

- 10月 1日（月） 校長会にて各中学校へ協力依頼
- 10月30日（火） 各中学校で子ども議員（生徒会役員）を4名選出する（様式1）
- 11月上旬～中旬 選出生徒会役員へのレクチャー
- 11月26日（月） 質問票（様式2）の配付（社会教育課→各中学校）
- 12月 1日（土） 事前研修会（午前10時10分～午後12時10分）
- 12月 7日（金） 質問要望書の提出（各中学校→社会教育課）
- 12月12日（水） 質問内容決定書の配付（社会教育課→各中学校）
- 12月18日（火） 質問通告書（様式3）の提出（各中学校→社会教育課）
- 12月25日（火） 子ども・学生未来会議（午後1時30分～午後4時30分）

## 6 当日の日程

- 13:15 子ども議員（中学生）集合
- 13:20 議員証書授与・議員バッジ配布（全員協議室）
- 13:30 議会の仕組みについての説明（全員協議室）
- 13:45 入場準備（トイレ休憩等）
- 13:50 子ども議員入場
- 13:55 市長あいさつ
- 14:00 子ども会議開会（子ども議長による開会宣言）
- 14:00 子ども議員（代表）による一般質問（各学校ごと）
- 14:00～14:10 太宰府中の質問
- 14:10～14:30 市長及び副市長、教育長の回答
- 14:30～14:40 太宰府東中の質問
- 14:40～15:00 市長及び副市長、教育長の回答

《15:00～15:10 休憩》

- 15:10～15:20 学業院中学校の質問
- 15:20～15:40 市長及び副市長、教育長の回答
- 15:40～15:50 太宰府西中の質問
- 15:50～16:10 市長及び副市長、教育長の回答
- 16:10 閉会あいさつ（副市長）
- 16:12 閉会（子ども議長による閉会宣言）
- 16:13 講評（教育長）
- 16:20 記念撮影（①三役＋生徒会役員）
- 16:25 アンケート記入及び諸連絡
- 16:30 解散

市内各中学校生徒会代表者一覧

学 校 名	生 徒 氏 名	学 年
学業院中学校	さ さ き しゆうた 佐々木 柊太	2年7組
	いのうえ たけと 井上 毅人	2年6組
	もり かなみ 森 奏海	2年4組
	レイヤード・アンガス <sup>つばさ</sup> 翼	1年4組
太宰府中学校	すぎもと はっかい 杉本 八海	2年1組
	こみなと さき 米湊 咲希	2年2組
	こだま たかし 児玉 堯	2年3組
	うえむら りゅういち 上村 龍一	2年1組
太宰府西中学校	じょうだい さんしろう 城代 三四郎	2年2組
	こう か のぞみ 江夏 希海	2年4組
	やまの うち なお 山ノ内 尚	2年5組
	いわさ びいな 岩佐 美稲	1年1組
太宰府東中学校	ほんだ ふみや 本多 史弥	2年1組
	くぼ りょうが 久保 良雅	2年2組
	いりえ ひびき 入江 響	1年1組
	ふくむら さいか 福村 彩月	1年1組

## 会議に出席した者の氏名

### <三 役>

○市 長 楠田 大蔵

○副市長 清水 圭輔

○教育長 樋田 京子

### <部長・理事・局長>

○総務部長 石田 宏二

○総務部理事 原口 信行

○教育部長 緒方 扶美

○教育部理事 江口 尋信

○市民生活部長 友田 浩

○観光経済部長 藤田 彰

○健康福祉部長 濱本 泰裕

○都市整備部長 井浦 真須己

○議会事務局長 阿部 宏亮

### <課 長>

○学校教育課長 吉開 恭一

○管財課長 柴田 義則

○税務課長 森木 清二

○用地担当課長 伊藤 剛

○都市計画課 木村 昌春

○総務課長 田中 縁

○防災安全課長 齋藤 実貴男

○議事課長 花田 善祐

○社会教育課長 中山 和彦

### <事務局>

○社会教育係長 池田 哲也

○社会教育係 古田 信也

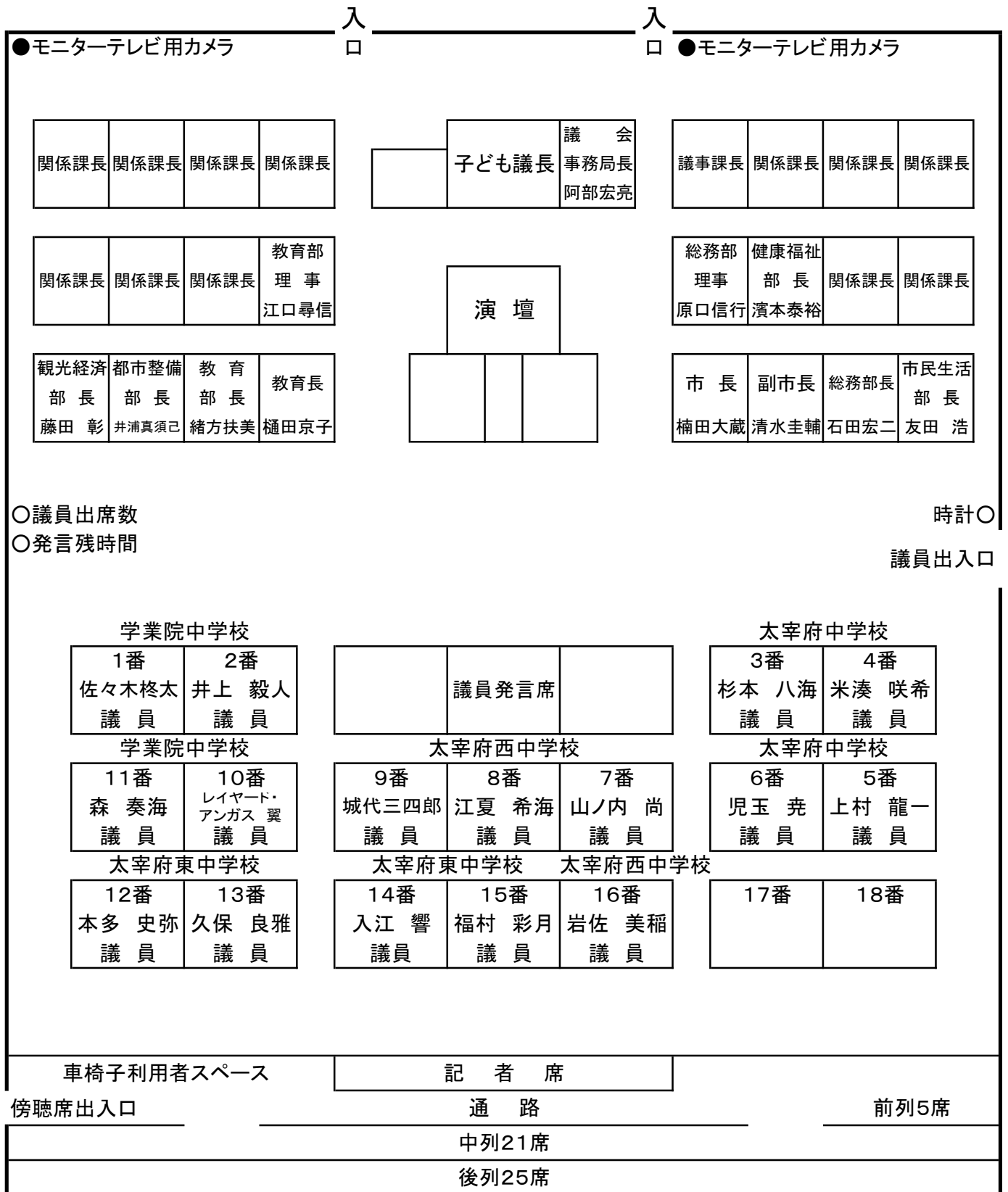
■ 一般質問通告者一覧表 ■

発言 順位	議席 番号	学校名 学年・氏名	質 問 要 旨	答弁者
1	4 3	太宰府中 米湊 咲希 杉本 八海	太宰府中校区内における交通渋滞の解消に向け、国立博物館側に大駐車場を設置し、天満宮側に入る人の流れをつくることはできないか。3号線側から入る車の流れと宇美町側から入る2つのルートの流れをつくることで、渋滞が半減できるのではないか。	市長
2	5	太宰府中 上村 龍一	現在、観光客のゴミのポイ捨てやトイレの使用マナーの悪さ、公園内のゴミの多い状況がある。そこで、観光客のマナーの向上に向けて、立て看板の設置や公園内のゴミ箱をもっと多く設置してはどうか。	市長
3	6	太宰府中 児玉 堯	天満宮には、年間約1000万人の観光客が訪れる。その中の外国観光客のツアー客に対して、「観光税」をとることはできないだろうか。また、この財源を活用して、学校給食などにあてられないだろうか。	副市長
4	12	太宰府東中 本多 史弥	私たちの住む地域では、夜道が暗くて怖い。少しでも夜に安心して、住みやすい街にするために、街灯をつけることができないか。また、安心して過ごすことができるように、市では、どんな取組をしているか教えていただきたい。	市長
5	13	太宰府東中 久保 良雅	私たちの住む校区の公園では、ボール遊びが全面禁止になり、ボール遊びをする場所が減ってしまった。ボール遊びが禁止になった理由も含めて、ボール遊びができるような取組はできないか。	市長
6	14 15	太宰府東中 入江 響 福村 彩月	私たちの学校では、「無言清掃」を徹底して、いつも学校をきれいにしているが、トイレの臭いが廊下にも臭ってくる。また、トイレに行って具合を悪くするする人もいる。トイレ環境の改善をしていただきたい。	教育長

発言 順位	議席 番号	学校名 学年・氏名	質 問 要 旨	答弁者
7	1	学業院中 佐々木柗太	とびうめアリーナは、とても大きく、楽しい場所で多くの人が利用している。とびうめアリーナの近くに競技場もあれば、国際大会なども開けると聞いた。競技場を建てる計画の予定について知りたい。	市長
8	2	学業院中 学業院中 井上 毅人	太宰府天満宮は、太宰府でも有名な観光スポットの一つである。歴史をアピールする一方で、新しいテーマパークをつくる予定はないのだろうか。高速道路も近く、多くの人の集客が見込めるのではないか。	市長
9	11 10	学業院中 森 奏海 レイヤード・ア ンガス翼	通学バッグが重くて、肩などが痛くなる。教科書一冊一冊が重たいことと勉強道具の持ち運びにとっても苦勞をしている。教科書を上下に分けるなど、負担を減らす対策をする予定はあるのかについて伺いたい。	教育長
10	8	太宰府西中 江夏 希海	私たちの住む地域は、車道が広いのに歩道が狭く、大きな段差があるところがある。また、住宅と歩道がとても近いので、自転車などが通るときに危ない時がある。みんなが安全に通れるように歩道を広くしていただきたい。	市長
11	9 7	太宰府西中 城代三四郎 山ノ内 尚	最近、第1次産業の（就業者の）割合が減っているとテレビ等で報道されている。そこで、この第1次産業の割合の減少について、市長はどのように考えられておられるのかお答えいただきたい。また、第1次産業の割合を増やすために、何か工夫しているところが、あれば、教えていただきたい。	市長
12	16	太宰府西中 岩佐 美稲	私たちの住む地域には、交番が少ない。どうして交番が少ないのか教えていただきたい。また、安心して、安全に生活するためにも交番を設置していただきたい。	副市長



# 議 事 室 席 次 表



## <議 事 録>

### 子ども議員入場 (13:50~)

社会教育係長 議場内の皆様にお知らせいたします。ただ今より、子ども議員入場となります。皆様ご起立の上、盛大な拍手でお迎えください。それでは、子ども議員入場です。(拍手)

※子ども議員、学業院中から学校順(学中→東中→西中→太中)に各議員、一礼して入場する。(拍手)



山ノ内議長 皆さん、こんにちは。私は、このたび議長になりました太宰府西中学校 山ノ内尚です。これから、議事前半の進行をしていきますので、皆様のご協力をお願いします。(拍手)

なお、開会前ですが、傍聴される皆様は、傍聴の際の注意事項をお守りください。ご理解の上、ご協力をお願いします。また、報道各社及び市広報担当から、写真、ビデオ撮影の申し出がっておりますので、許可しております。それでは、最初に太宰府市長 楠田大蔵様。ごあいさつをお願いいたします。



### 市長あいさつ (13:55~)

楠田市長 皆さんこんにちは。太宰府市長の楠田大蔵です。記念すべき「子ども・学生未来会議(子ども議会)」の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、冬休みの初日にも関わりませず、子ども・学生未来会議 子ども議会のご案内を差し上げましたところ、市内4中学校から選ばれし16名の精鋭の学生諸君に参加をいただき、誠に頼もしく思います。皆さんは、ここ太宰府において市の議会の運営を直接に体験する初めての中学生であり、歴史に残る先駆者であります。この経験が皆さんにとって大変貴重な経験となり、皆さんの輝かしい未来へとつながることを期待しております。皆さんたちの顔をここから改めて拝見しておりますと、緊張した面持ちの中にも何かを成し遂げにここに来たのだという強い意志を感じ、まさにここから本市の新たな歴史



が始まるのだと、私もわくわくして参りました。さて、皆さん方が現在いますこの場所は、議場と言います。これまで幾度となく戦乱や過ちを繰り返してきた世界人類が、出来るだけそれを防ぐために、長きに亘る叡智の結集として生み出した民主主義という政治システムを象徴する固より神聖な言論の場です。本市においても、公正な選挙を経て選出された市民の代表たる市長と議員の皆さん方、そして市の幹部が年間4回の議会ごとに市と市民の皆様様の現在やこれからの在り方について論争を繰り広げています。

子ども・学生未来会議を今回初めて企画、開催しましたのは、未来の太宰府、そして日本、世界を担う皆さん方が、子どもや学生のうちから自らの思いや提言を市長や議員の皆さん、市幹部という大人に対しても積極的に発言してもらうことで、早くから政治、行政への関心を高めてもらい、ふるさと太宰府を愛する気持ちを涵養するとともに、わが郷土、国家、世界をこれからどうすべきかを主体的に考えてもらいたいとの私の強い思いからであります。我々も、皆さん方が一生懸命作成した質問に対し、いつもの議会での答弁と同じように本気で答弁させていただきます。今回の皆さんの様々な提案のなかで有意義なものは、今後の太宰府のまちづくりに大いに役立てられるよう積極的に取り上げていくこともお約束します。

結びに、本日子ども議会の開催にあたりまして、多大なるご尽力を賜りました市内各中学校の校長先生の皆さま方をはじめ、議場使用を快くご協力いただき、様々なアドバイスをいただきました議員の皆様ほか、関係者の皆さま方に心からお礼を申し上げますとともに、この新たな試みが実り多きものとなりますことをご期待申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。選ばれし中学生の皆さん、本日は心置きなく自らの思いを我々にぶつけて下さい！皆さんへの最高のクリスマスプレゼントになるよう我々も頑張ります！

#### 開 会 宣 言 (14:00～)

山ノ内議長 改めまして、皆さん、こんにちは。

まず、子ども議員定数16名のうち、本日の出席議員は16名です。よって、議会の開会要件であります、過半数以上の出席者があることを報告いたします。それでは、ただいまより「子ども・学生未来会議(子ども議会)」を開会いたします。議事にはいります。日程第1、「会期の決定」を議題とします。お諮りします。本議会の会期は、本日の1日間にしたいと思います。これにご異議ありませんか。



議員全員 異議なし。

山ノ内議長 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定しました。日程第2、一般質問を行います。今回の一般質問通告書は、4 中学校 16 名から提出されております。そこで、質問順位にしたがい、学校単位に太宰府中学校、太宰府東中学校、学業院中学校、太宰府西中学校の順で行います。なお、今回の議事の進め方は、まず、中学校ごとを一括して質問を受け、その質問に対して、一括して執行部から答弁をしてもらう形で進行をいたします。なお、一つの質問を二人で前後半に分けて行う場合があることも、事前に了解をお願いします。

## 議 会 前 半

山ノ内議長 それでは、太宰府中学校 四番 米湊議員、三番 杉本議員の質問を許可します。

米湊議員・杉本議員 はい。(自席から演台へ移動)

太宰府中学校 米湊 咲希です。同じく杉本 八海です。私たちは、「市内の交通渋滞解消」について質問させていただきます。

私たち、太宰府中学校の4名は本会議における質問を決定するにあたり、平成30年度太宰府市「施政方針」や平成31年度「経営予算編成方針」を参考にしながら質問を決定しました。最初の質問が、太宰府中学校区内における交通渋滞の解消についてです。現在、正月や七五三などの行事の時に渋滞が多いことや、道が狭いため、車や人との接触が危ないなどの問題があります。「施政方針」の中に第5のプランとして「環境重視の逆転の発想で渋滞解消」という項目があります。パークア

ンドライドやシェアサイクルの導入については私たちも基本的には賛成です。そこで、逆転の発想から僕たちは以下のことを提案します。天満宮への観光バスや車はそのほとんどが国道3号線から天満宮へ向かっているのが現状です。そこで、国立博物館側に大駐車場を設置し、国立博物館のエスカレーターを使って天満宮に入る人の流れをつくることは出来ないでしょうか。つまり、国道3号線からの車両進入に加えて、宇美町側からの天満宮への進入経路を作ることで、2つのルートからの天満宮への立ち入りが可能になり、渋滞も半減すると思いたいますがいかかでしょうか。

山ノ内議長 続いて、五番 上村議員の質問を許可します。



上村議員 はい。(自席から演台へ移動)「観光客のマナー向上に向けた取組」についての質問を行います。第五次太宰府市総合計画後期基本計画に基づく施策にごみの減量についての施策が述べられています。ごみ減量 72,000 人プロジェクトについては私たちも賛成です。しかし、問題は観光客によるごみのポイ捨てや、トイレの使用マナーの悪さ、公園内でごみが多い状況を解決する必要があると思います。太宰府天満宮付近のローソン付近では、ごみが散乱しています。また最近、観光客がスーパーのフードコーナーで食べ物を食べ散らし、飲んだお酒をテーブルにこぼしたままその場を立ち去り、太宰府中学校 1 年生 3 名が綺麗に後片付けをしたということも起きています。そこで、観光客向けのマナー向上に向けた立て看板の設置や、公園内のごみ箱をもっと多く設置してはどうかと思いますがいかがでしょうか。



山ノ内議長 続いて、六番 児玉議員の質問を許可します。

児玉議員 はい。(自席から演台へ移動) 太宰府中学校の児玉です。「観光税の導入」について質問させていただきます。平成 31 年度経営・予算編成方針の中に中期財政収支見通しを私たちは調べました。歳入の平成 34 年度は 1.3%の増に対し、歳出は 2.1%の増になっています。つまり、財政は大変厳しいものと判断しました。そこで質問です。天満宮には約 1,000 万人の観光客が訪れます。その中の、外国人観光客のツアー客に対して、観光税を取ることはできないでしょうか。福岡県商工部観光局観光政策課の調査では、平成 27 年度は約 867 万人近くの外国人が、天満宮を訪れています。そこで、ツアー客に限定して仮に 800 万人として、1 人 100 円の観光税を徴収すると、8 億円の税源が太宰府市に入ることになります。この財源を活用すると、学校給食などの実現が可能になると思いますがいかがでしょうか。



山ノ内議長 それでは、太宰府中学校の全質問が終わりましたので、執行部の答弁にうつります。まず、四番 米湊議員、三番 杉本議員の一般質問に対する答弁を求めます。楠田市長さん。

楠田市長 まずもちまして、施政方針や経営・予算編成方針を熟読いただいたうえで、非



常によく練られた具体的な提案を頂きありがとうございます。太宰府中学校の皆さんにとっては、通学時も毎日交通渋滞に遭遇されているので、特に切実な問題であろうと思います。市としても近年の渋滞問題は、優先順位の高い大きな問題であると考えています。現在の取り組み状況としては、市では「渋滞状況」「車がどちらに向かって動いているか」「道路や交差点の車の量」等を調べる交通実態調査を行っています。また、国や県では「どのような人が」「どのような目的で」「どこからどこへ」「どのような交通手段で」移動したかを調べる調査や県道、国道の自動車の交通量を把握する道路交通調査が行われています。

これらの車や人の動きの調査を用い、渋滞要因を分析し、様々な分野の専門家などで構成する協議会を開催し、渋滞を含めた様々な交通問題について話し合いを行っています。この話し合いに基づき、今後の渋滞対策や交通政策などを示した交通の計画を策定します。皆さんの提案の中で、大駐車場の建設予算の捻出や既にある県道筑紫野古賀線の渋滞の更なる悪化の懸念など乗り越えるべき課題もありますが、今後策定する交通大動脈計画にもぜひこうした考え方を組み込んでいきたいと思っています。



次に、2件目の「外国人を含む観光客のごみポイ捨て対策等のマナー向上について」ご回答いたします。太宰府中学校の皆さんがスーパーのフードコーナーの片付けに協力されたとのことで感心いたしました。多くの方々が、片付けをされた皆さんのような心がけを持ってくだされば、太宰府市がもっとマナーの行き届いた快適なまちになると思います。さて、マナー向上に向けての立て看板の設置でございますが、市では外国語表記のポイ捨て禁止看板等を作成し、既に数箇所を設置しておりますが、必要に応じ更なる増加も検討したいと思います。観光客の更なる増加で、生活するうえで実際にお困りの方もおられることから、看板以外にも外国人を含む観光客の皆さんにもわかりやすくマナーを説明するなど、今後も必要に応じて、きめ細かい啓発をすすめて参ります。

太宰府市を訪問される方も、市民の皆さんも、お互いがマナーを守っていただくことで「住まう人も訪れる人も共にうるおう太宰府」を目指して参ります。次に、公園内のごみ箱設置について、でございます。ごみは、発生させた方がご自分の責任で処理していただく必要があります。公園内にごみ箱を設置した場合、そのごみの処理費用は、ごみを入れた方の負担ではなく、市が税金で処理することになります。したがって、ごみ箱を単に設置するのではなく、ごみは持ち帰りご自分で処理していただくようお願いしているところです。ごみの処理には莫大なお金がかかっています。一人ひとりのほんのひと手間、ごみ処理にかかる費用が節約でき、その費用を他に充てることができます。「ごみ減量72000人プロジェクト」は、そのような身近なところから誰にでもできる、

太宰府市の未来に向けた取り組みです。ポイ捨て防止はもちろん、ご家庭や学校でできることからごみの減量にご協力いただければと考えております。

山ノ内議長 続いて、6番 児玉議員の一般質問に対する答弁を求めます。清水副市長さん。

清水副市長 外国人観光客（ツアー客等）から「観光税」を取ることにについて回答いたします。「平成31年度経営・予算編成方針」の中から中期財政収支見通しを調べて将来の太宰府市の財政状況を予測するという考えはとてもすばらしいものです。現在、太宰府市においては、他市にない収入を得る政策の一つとして「太宰府市歴史と文化の環境税」いわゆる「駐車場税」を導入しておりまして、観光客など有料駐車場をご利用の皆様や駐車場事業者の皆様のご協力を得ながら、みなさんが生まれる少し前、平成15年5月から実施しており、現在年間8千万円以上の収入となっております。その使いみちにつきましては、たとえば、みなさんご存知の「太宰府古都の光」をはじめ、6年生の時にされたと思いますが「太宰府子どもじまん認定」や、「史跡地のライトアップ」、「観光スポットにおけるWi-Fiの整備」、また、太宰府の宝である史跡地の「保存活用のための整備」など多くの歴史的、文化的な事業等を実施するために活用させていただいているところです。今後におきましても、太宰府市における収入増が見込める政策を調査・研究するとともに、支出についてもできる限り抑えることができるようにしまして、ご要望にある「学校給食の実現」に向け、財源調整に努めたいと思います。今回は、貴重なご提案をいただきありがとうございます。ありがとうございました。



山ノ内議長 今、執行部の答弁がありました。再質問があれば許可します。再質問がある議員は、挙手を願います。どうぞ

上村議員 太宰府中学校の上村です。観光客向けのマナー向上に向けた取り組みに、観光客のマナー向上にむけてトイレの有料化について実現は可能でしょうか。



山ノ内議長 どうぞ。

楠田市長 私からまず、基本的な答弁をさせて頂きまして、関連については部長から答弁

をいたします。トイレの有料化であります。先ほど外国人からの、外国人に対する環境税、というご指摘もありましたが、率直に申しまして、なかなか特定のこうした利用者なり、外国の方だけをターゲットにした課税というのは非常に法的にもまた現実的にもなかなか難しいのではないかとこの考え方をまずは持っております。

しかしトイレにつきましては、実際に太宰府天満宮の大駐車場トイレ掃除の為に歴史と文化の環境税も一部活用をいたしておりますので、そうした意味では確かにトイレを利用する観光客の方が、トイレを利用して、その清掃をしなければならない直接の相手方になっているということもご指摘の通りだと考えます。確かに海外などに行きますと、トイレに入ること自体がコインを入れて使うような有料のトイレもあることを、私もこれまでも見てまいりました。そうした将来的な観点からトイレの有料化に限らず、実際に利用される方がそれにかかる様々なコストを負担してもらうような、利用者と受益と負担の関係というものを念頭に置きながら、さまざまな策というものを今後調査研究していくことは必要なことだろうと率直に感じているところであります。以上です。

山ノ内議長 観光経済部長。

観光経済部長 今市長がだいたい仰いましたので私のほうからはあまりいうことはないのですが、太宰府市には公衆トイレというものが多く、ございません。特に参道周辺でいきますと、太宰府館、地域活性化施設太宰府館というところにトイレがあります。そのほかに天満宮の大駐車場を駐車センターと言いますが、そこ、西鉄の太宰府駅、あと天満宮に入ったところの総合案内所にトイレがございます。今申しましたように、民間の経営しているトイレにつきましてはこちらから有料化というのは難しい問題ではございます。ただ、市長が申しましたようにチップ制とか有料化というのは、今後の議題の中で出てくる問題であろうと思います。太宰府館につきましては、観光客だけではなくいろんな方が利用されております。ホール3階の多目的ホールを利用される方であるとか2階で休憩される方、色んな方がお見えになりますので、なかなかそこでチップ制、有料制というのは難しい問題かと思いますが、今意見をいただきましたものを我々も提案しながら、より良いトイレ環境を作っていきたいというふうに思っております。以上でございます。



山ノ内議長 他に再質問はありますか。どうぞ。

米湊議員 太宰府中学校の米湊です。パークアンドライドやシェアサイクルの計画の状況



について教えてください。

山ノ内議長 観光経済部長。

観光経済部長 パークアンドライドにつきましては、都府楼駅前にパークアンドライドということでひとつ持っております。これはどちらかというと福岡市へ通勤される方のパークアンドライドでございます。今後太宰府市に入ってくる車の流入量を抑制するためには郊外にパークを作っている中はどうやって入れていくのかということは既に私どもの構想の中にはありますけれども、土地の問題などもありまして実現に至っていないのが現状であります。こちらにも有効な手段として我々も検討していきたいと思っています。

また、シェアサイクルでございますけれども、太宰府駅にレンタサイクルが用意してありまして、こちらは最寄りの駅ですね二日市、都府楼駅等でも乗り捨てができるということで今やっているところでございますが、さらなるシェアサイクルの活用も現在検討段階に入っております。もし出来れば、来年・再来年の中にはシェアサイクルというかたちも進んでいくかと思っております。今、ちょうど実施に向けての検討段階でございます。実施できるかどうかまだ確定しておりませんが、まもなくその方向性が見えると思っております。その時期になりましたら是非ご利用をお願いしたいと思います。以上でございます。

山ノ内議長 他に再質問はありますか。どうぞ。

児玉議員 太宰府中学校の児玉です。将来の財源の確保に向けて太宰府市が出資してリゾートホテルなどを建設する計画はないでしょうか。

山ノ内議長 楠田市長。

楠田市長 お答えをします。現時点でそのような計画はございません。また、本市においてホテル、特にリゾートホテルのようなものは全くございません。そういうことに対しまして滞在時間が短くなる、経済効果が低くなってしまっている。そうしたことを指摘されています。その一方で、民間の様々なリゾートホテルを含めてホテル関連



の業者の方々に検討はしてきて頂いたようですが、太宰府の現状のなかでは宿泊までして頂けるような、そうした滞在時間を長く確保できるほどの市の中での全体的な魅力に乏しいといった判断を民間の業者はされるようで、進出に至っていないといったのがこ

れまでだったと思います。

しかし、その一方で、たとえば民間の業者の中でも、小規模のリゾートホテルというか、少し高級志向の小規模人数で滞在をしていただけるような、そうした形態の民泊のようなものを設置して頂く検討というのは、少しずつ進んでいるようにお伺いしていますし、今後もそうしたリゾートホテルの建設など、まずは民間の方々に誘致して頂けるように太宰府の魅力を高めていくことが、先決だろうと思っております。

そのうえで、たとえば将来的に、修学旅行の生徒さんたちも多く来られておりますので、そうした方向けの宿泊施設のようなものに、市もひとつ出資するかも含めて主体的にかかわりながら、迎える、おもてなしをする形態を考えていくということは一つの可能性としてあると思います。リゾートホテルとなるとなかなか太宰府のなかで、歴史の深い自然豊かな街並みの中でどのような形式のホテルが良いか市民の中でもかなり議論があると思いますので、どういう形態が良いかや、今後本市のかかわり方も含めて、ご指摘を踏まえ、考えてまいりたいと思います。いずれにしても、市が出資をしてホテルなり施設、公共施設的なものを建てていくことは、なかなか今の時代においては納税者の理解も得にくい可能性もありますので、そうしたことも慎重に見極めながら考えてまいりたいと思います。以上です。

山ノ内議長 他に再質問はありますか。どうぞ。

杉本議員 再質問はありません、ありがとうございました。これで太宰府中学校の一般質問を終わります。

山ノ内議長 それでは、これで、太宰府中学校の一般質問は終わります。質問者は自席に戻ってください。続いて、太宰府東中学校の一般質問にうつります。12番 本多議員の発言を許可します。

本多議員 はい。(自席から演台へ移動) 太宰府東中学校 本多 史弥です。「市内の道路整備」について質問させていただきます。私たちは、この太宰府市の道路について考えました。高雄台の坂などはポールが建てられ、安全面が確保されたと思います。ですが、不審者の情報が多くあること、夜道が暗くて怖いことが気になります。このような思いでいる人が周りにはたくさんいます。少しでも、夜に安心して住みやすい街にするために、街灯を点けることはできませんか。また、安心して過ごすことができるようにするために、この市ではどのような取り組みをしているか教えてください。



山ノ内議長 続いて、13番 久保議員の質問を許可します。

久保議員 はい。(自席から演台へ移動) 太宰府東中学校 久保 良雅です。「公園内でのボール遊びができるようにする取組」について質問させていただきます。私は、高雄台区に住んでいます。近くに公園もあり、とても良いところだと思います。私は、野球部に所属しており、よくその公園でキャッチボールなどの軽い練習をしていました。ですが、このような看板が建てられ、ボール遊びが全面禁止になり、野球・サッカー・ドッジボールなどのボール遊びをする場所が減ってしまいました。ボールが出てしまって、周辺の家の方に迷惑がかかってしまうことも事実ですが、友達と話す中でも、ボール遊びが出来なくなって悲しいと言っている人は多くいます。そこで、ボール遊びが禁止になってしまった理由も含めて、これから市ではどのようにボール遊びが出来るような取り組みが考えられているのか教えてください。



山ノ内議長 続いて、14番 入江議員 15番 福村議員の質問を許可します。

入江議員・福村議員 はい。(自席から演台へ移動) 太宰府東中学校 入江 響です。同じく 福村 彩月です。私たちは、「東中のトイレの整備」について質問させていただきます。私たちが通っている太宰府東中学校では、無言清掃を徹底していて、いつも学校を綺麗にしています。しかし、トイレのにおいが廊下でもにおってきたり、トイレに行って具合が悪くしたりする人もいます。私たち太宰府東中学校の生徒が、落ち着いた環境で過ごすために、トイレ環境を少しでも良くしてほしいです。このことに対して、市はどのような考えがあるのか教えてください。



山ノ内議長 太宰府東中学校の全質問が終わりましたので、執行部の答弁にうつります。  
まず12番 本多議員に対する答弁を求めます。楠田市長さん

楠田市長 まずもちまして、我々が気付きにくい日頃の生活に基づく率直なご意見やご質問をいただきありがとうございます。やはり市民の皆様の安心・安全を確保することこそが市としての最大の役割の一つであると再認識することが出来ました。さて、街灯には人や車が安全に利用するために道路を明るく照らす街路灯と、地元自治会が防犯上危

険と思われる個所に設置する防犯灯があります。防犯灯につきましては、地元自治会で設置をされることになっており、その設置費用を市が補助金を交付することで、地元自治会の負担を軽減し、防犯灯設置数の増加につながっています。また、より安心して過ごしていただけるように、明るく寿命が長く、電気代も安価なLEDへの改修も併せて行っております。その他、市では犯罪等の予防を目的とした地域見守りカメラ（防犯カメラ）を市内14か所に28台設置しています。東中学校近くでは、絵が書かいてあるコンクリートの壁周辺に2台設置しています。加えて、自治会と協力し、青パトを使用した夜間防犯パトロールを実施しています。以上のような取り組みを行っておりますが、防犯灯の設置促進や防犯パトロールなど皆さんをはじめ、地元自治会のご意見をいただきながら、なお一層の安心・安全な街づくりに努めていきたいと思っております。以上です。

山ノ内議長 続いて、13番 久保議員の一般質問に対する答弁を求めます。楠田市長さん。

楠田市長 1つ目の「ボール遊びができるような取り組みについて」ですが、先ほどの看板を見させていただけますでしょうか。ありがとうございます。かなり辛辣な書きぶりで、皆さんもショックを受けられたかもしれません。そうした書きぶりなども気を付けていきたいと思っております。公園には、小さいお子さんからお年寄りの方まで、老若男女さまざまな方が利用されます。硬いボールやバット等を使用する遊び、あるいは大人数でのボール遊びについては、他の利用者の方が利用しにくくなるという声や安全面などを考慮してやむなく禁止することになりました。今後も、公園を利用する方々や、学校、自治会など広く地域の関係者の方々から意見を募りながら、公園の維持・管理や利用の仕方も含め子どもたちの遊びの場の確保の観点からも検討して参りたいと思っております。2つ目の「公園などにネットを取り付けてボール遊びができるような環境整備をすることは可能か」についてですが、現在のところは予算や技術の面などから難しいと考えておりますが、先程の子どもたちの遊び場確保の観点から様々な可能性を探って行きたいと思っております。以上です。



山ノ内議長 続いて、14番 入江議員、15番 福村議員の一般質問に対する答弁を求めます。樋田教育長さん

樋田教育長 次は、「太宰府東中学校のトイレ環境の改善」についてですが、私から回答いたします。太宰府東中学校は、「無言清掃を徹底していて、いつも学校をきれいにしています」とのお話を受けて、本当に学校を大切に使用していると改めて感じました。本当にありがとうございます。



「太宰府東中学校のトイレ環境の改善」については、古くなったトイレの環境を良くするために工事をする必要がありますが、工事をする前にはどのように工事をするかを考える必要があります。それを「設計業務」といいます。この設計業務の中で、「大便器の洋式化」や「多機能トイレを各階に設置」するなど計画をしていきます。この設計業務を行うにも当然費用が掛かる訳ですが、今年の9月の定例議会にて、市議会議員の皆さんに承認を得て、予算をつけて頂き、11月6日に設計をする業者と業務の契約を結んだところです。現在は、市の担当する社会教育課、学校の関係者、設計業者との間で話し合いが行われ、詳しい計画・設計が来年の3月頃に出来る予定です。また、今後の工事については、大きな金額の工事費が見込まれますので、国【文部科学省】に学校施設環境改善交付金という助成金の要望を出しており、交付金が認められれば、平成31年度に工事が着手できるよう計画しています。学校教育の充実は、楠田市長の施政方針「学問の神様にふさわしい教育・子育て」として重点事業と位置付けていますので、今後も可能な限り学校教育環境の整備・充実を図っていきます。ありがとうございます。

山ノ内議長 今、執行部の答弁がありました。再質問があれば許可します。再質問がある議員は、挙手を願います。どうぞ。

久保議員 再質問は、ありません。ありがとうございました。

山ノ内議長 これで、太宰府東中の一般質問を終わります。

#### 休憩宣言(14:40~)

山ノ内議長 ここで、15時まで休憩をします。なお、私の議長としての仕事は、ここで終わります。議事進行のご協力、まことにありがとうございました。

#### 議会後半

杉本議長 ここからの議事進行は、太宰府中学校杉本 八海が議長を務めます。皆様のご



協力をお願いします。それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。一般質問を続行します。1番 学業院中学校 佐々木議員の一般質問を許可します。

佐々木議員 はい。(自席から演台へ移動) 学業院中学校 佐々木 柊太です。「とびうめアリーナ近くに、新たな競技場を建設する構想」について質問します。私たちがよく利用するとびうめアリーナはとても広く、安く、楽しい場所で、私も友達も大好きです。とびうめアリーナに付属競技場があれば、国際大会も開けたと聞いたことがあります。そうなれば、観光客も増えると思うのですが、今後競技場を建てる予定はあるのでしょうか。



杉本議長 続いて、2番、井上議員の質問を許可します。

井上議員 はい。(自席から演台へ移動) 学業院中学校 井上 毅人です。「市内にテーマパークをつくる構想」について質問させていただきます。太宰府市で観光地と言え、太宰府天満宮です。観光に対しては、天満宮に頼っていると思います。なので、歴史もアピールする一方で、新しいテーマパークを勧誘するのはどうでしょう。太宰府は高速道路も近く、若者も多く訪れ、それに伴って交通整備も進むと思います。今よりも若者が増えていけば、市全体が活気あふれるものになると思います。



杉本議長 続いて、11番 森議員、10番レイヤード・アングス翼議員の質問を許可します。

森議員・レイヤード・アングス議員 はい。(席から演台へ移動) 学業院中学校 森 奏海、同じく、レイヤード・アングス翼です。私たちは「通学バッグの軽量化の取組」について質問させていただきます。私は学校に登校する際、かばんを背負っていくのですが、教科書やワーク、昼食などでパンパンになり、非常に重く肩が痛くなります。そこで教科書を上・下に分けて、登校時の生徒の負担を減らす対策をする予定はありま



すか。また、今日は実際にかばんを持ってきたので、持ってみてください。(教育長に実際に持ってもらう)今持ってもらったように重いですが、家が遠い人はこれを長時間持って登校しており、また部活の道具や弁当なども別にあり、更に負担が大きくなるので、前向きに検討して欲しいです。

杉本議長 学業院中学校の全質問が終わりましたので、執行部の答弁にうつります。まず 1 番 佐々木議員の一般質問に対する答弁を求めます。楠田市長さん。

楠田市長 まずもちまして、粹にとらわれない自由な発想で本市の更なる活性化への提案をしていただき改めて気合を入れられた思いです。ありがとうございます。まず、「とびうめアリーナ付近に競技場を建てる計画」についてご回答申し上げます。まずはいつも、とびうめアリーナをご利用いただき誠にありがとうございます。おかげをもちまして、先月開館 2 周年を迎えることができました。平成 29 年度の利用者数は、約 14 万 6 千人で月平均約 1 万 2 千人のご利用がありました。平成 28 年度の月平均と比較しますと 47.7% の増となっています。これからも市民に親しまれる体育館を目指していきたいと考えています。さて、とびうめアリーナ付近の競技場の建設についてですが、確かに国際大会の誘致可能性などの相乗効果なども考えれば夢のあるご提案です。こちらの中長期的に調査研究をして参りたいと思います。一方、現在既に本市の体育施設としましては、体育館が 4 ヶ所、野球場・ソフトボール場・サッカー場・テニスコートなどの運動公園が 6 ヶ所、プールが 1 ヶ所あり、その維持経費などもかなり掛かっており、現時点では予算的にも施策の優先順位的にもなかなか難しい状況でございます。一つの在り方として、福岡都市圏（福岡市周辺の市町）では市町のスポーツ施設等を相互に他の市町の住民の利用に供することの取決めがなされており、近隣自治体との広域連携で本市の既存施設の魅力を高めていくことも考えてまいります。



杉本議長 続いて、2 番 井上議員の一般質問に対する答弁を求めます。楠田市長さん。

楠田市長 太宰府に新しいテーマパークを作る可能性についてご回答申し上げます。本市の観光の大きな課題であります、滞在時間の短さやそれに伴う観光消費の少なさ、経済効果の低さ、宿泊場所の少なさなどを一気に解決する可能性のあるインパクトのあるアイデアだと感じます。しかし現時点では財政的に市が主体となった建設が難しいという点や、北九州のスペースワールドが最近閉鎖されたようにテーマパークの設定次第では逆に市の運営を圧迫する可能性もあります。そうした分析も重ねながら中長期的に可能

性を探っていきたいテーマです。一方で、太宰府天満宮や九州国立博物館に多くの観光客が集中して渋滞の原因となったり、同じように歴史や文化的強みを持つ他の資源が活かしきれていないという現状の課題があります。まずは大宰府政庁跡や水城跡、観世音寺、戒壇院、竈門神社、宝満山や四王寺山などの既にある歴史的文化的遺産を市全体のテーマパークととらえ直し、更なる観光客の方々が訪れ、楽しんで頂く環境整備を行って参りたいと考えております。以上です。

杉本議長 続いて、11番 森議員、10番 レイヤード・アンガス翼議員の一般質問に対する答弁を求めます。樋田教育長さん。

樋田教育長 質問がありました、児童生徒の携行品について私から回答申し上げます。学校の荷物が重いために、体の一部に「痛み」を感じている小中学生がいることは理解をしています。あるランドセルメーカーの調査によると、小学生は平均6



キロの重さのランドセルを背負って通学し、31.2%の小学生が体の一部に「痛み」を感じているそうです。中学生になると、部活動の道具やお弁当など、さらに荷物が重くなっているのではないかと思います。たった今、実際に荷物を持ってみましてその重さを実感したところでございます。ご質問の、教科書を上・下に分冊できないのかという件ですが、教科書は、教科書を発行する会社が絵や写真などを多く取り入れるなど、創意工夫して作っており、現在のところ、重さや分量についての制限はございません。ただし、どの教科書を選ぶかは、教育委員会が定めることができます。今後は、教科書の重さや分量についても、会議の中でもっと議論されていくと思います。今年の9月に文部科学省は、教科書や教材等のうち、何を持ち帰らせるか、何を学校に置いておかせるかということについて、身体の発達段階や学習上の必要性、学校や地域の実態を踏まえて必要な配慮をするよう、学校に通知文を出しました。議員の学校においても、通学時の荷物についてルールが決まっている、もしくは、現在ルール作りが行われているところだろうと思います。その中で、中学校の先生方は、生徒の皆さんが自分自身で判断して、置いて帰るものを決めることができるようにしたいと考えておられます。議員の皆さんも、是非この機会に「置き勉」について生徒同士、あるいは先生と一緒に考え、知恵を出し合えてもらえたら大変嬉しく思います。





杉本議長 今、執行部の答弁がありました。再質問があれば許可します。どうぞ。

井上議員 僕は、僕が行くテーマパークといえばグリーンランドや城島高原パークで、近場でいえばイオンなどといった商業施設です。確かに、テーマパークを作るのに関してリスクは大きいと思いますが、企業などを介入するといった方法もありますし、リスクのないものに成功はないと僕は思うから、もう少し前向きに検討して頂きたいと思います

杉本議長 楠田市長さん

楠田市長 ありがとうございます。慎重さが私の売りでもありまして、慎重な答弁で物足りないかもしれませんが、おっしゃるように企業の、民間の力を借りるという手法は非常に魅力的でありまして、もっともな指摘だと思います。グリーンランド、城島高原に私は行ったことがありませんが、イオンがもうテーマパークになっているのですね。確かにそれぐらい広く、私も実家の近くなので何回か行きましたけども、そうした民間の商業施設も含めて、特に最近、五条のマミーズさんが撤退をいたしまして、その後の五条いきいき情報センターの活用について様々な議論も議会でも行なったところでもありますし、内部でもまた外部の様々なお力も借りながら活用法を今から考えていくところでもあります。そうした中でおっしゃるように、テーマパークも色々な形があると思います。つまりは皆さんのような学生の皆さん、子ども達が集まっただけのような、また太宰府は高齢者のかたも多いですから、高齢者の方も同じく、ともに集まっただけのような、太宰府の特性に合ったようなテーマパークのようなもの、皆さんが集まる、内外から人が集まっただけきやすいような、そういうものを民間の知恵をかして誘致することは積極的に考えていきたいと思った次第でございます。ありがとうございます。

杉本議長 他に再質問はありますか。どうぞ。

佐々木議員 天満宮、九州国立博物館のほかに観光客を増やすチャンスを逃していいのでしょうか。予算の問題で優先順位を下げてしまっているのでしょうか。そういつて完全給食も先延ばしになったので、あまりいつになるかという想像がつかないのですが、この附属競技場を建てることについて前向きに検討して欲しいと思います。



杉本議長 楠田市長さん。

楠田市長 ほんとは部長から答えてほしいところですが、逃げずに私から答えます。おっしゃるように給食の件も含めて優先順位と財政を理由にした先延ばしはもうまっぴらごめんだという、佐々木議員のご指摘だったと思います。それがまさに、今の中学生の率直な思いであろうとまずは私の胸に深く刻み込みたいと思います。と言いながらですけども、なかなかすぐさまできるという訳にはいかないですけども、私自身は太宰府の公共施設は充実している。しかし老朽化をしているということで、まずは今あるものの建て替えなど、再編をしていく必要もあると考えております。率直に申しまして、新規の公共施設を作るということは非常に困難を伴う、なかなか難しい、というのが率直なところなんです。先ほどご指摘がありましたように、市として主体的に公共施設を作るということは難しいという一方で、民間にこうした競技場を運営してもらえるような、体育館がもっと魅力的になってくれば体育館とセットでプールもありますし、競技場を運営する可能性が高いということになれば、民間側のほうから誘致しようと思立ってくださるところがあるかもしれません。そうした観点で、この地域の魅力も高めながら体育館の魅力もより高めながら、まずは民間の方々が競技場のようなものを運営する、なにか動機づけを与えられるような努力をさらに強めていきたいと思います。



杉本議長 他に再質問はありますか。どうぞ。

レイヤード・アンガス議員 先ほどもおっしゃられた通り、少しバッグの軽量化というのは難しいと思いますが、お隣の市の教育長などとともに生徒の体のことなので前向きに考えてもらえないでしょうか。

杉本議長 樋田教育長さん。

樋田教育長 今、議員に仰っていただいたように置き勉、いわゆる通学時の荷物の軽減ということについては、全国的にどこの市や町や村の教育委員会も一生懸命考えて知恵を出し合おうとしています。この近くの筑紫地区の教育長ともいつも話し合いながら、皆さんが一番安全に、健康に学校生活を送れるようにと話し合っています。みなさんもそれぞれ、体が大きい人、体格がいい人等まだまだいろんな条件の違いもありますし、病気がちな人など、いろんな人がいると思います。一律にこうしましょう、と言え



ないのですけれども、ぜひ個別に、個人的にこうして欲しいということがあったら先生方に遠慮なく言っていただいて、配慮してもらおうということもできるようにしています。学校の大きさとか、校舎の状況とかいろいろ違いがありますので、それぞれの学校で一番いい方法話し合ってもらって、皆が納得して荷物の軽減が出来るような方法が見つければいいなと思っています。学校とも、教育委員会とも協力しながら皆さんを支えていきたいと思っています。以上です。

杉本議長 他に再質問はありますか。どうぞ。

井上議員 再質問はありません。ありがとうございました。これで一般質問を終わります。

杉本議長 それではこれで、学業院中学校の一般質問は終わります。質問者は自席に戻ってください。次は、太宰府西中学校の一般質問にうつります。8番 太宰府西中学校 江夏議員の一般質問を許可します。

江夏議員 はい。(自席から演台へ移動) 太宰府西中学校 江夏 希海です。「西中校区内の道路の拡幅」について質問させていただきます。私たちの住む地域には車道は広いのに、歩道が狭く、大きな段差があるところがあります。たとえば、毎日のように通学する通学路では、西中校区でいうと青葉台、吉松といくつかありますが、どれも歩道が狭く通るときに危ないときが多くみられます。また、バス停などがあるので通りにくいときがあります。みんなが安全に通ることが出来るように歩道を広くすることはできないのでしょうか。



杉本議長 続いて、9番 城代議員、7番 山ノ内議員の質問を許可します。

城代議員・山ノ内議員 はい。(自席から演台へ移動) 太宰府西中学校 城代 三四郎です。同じく、山ノ内 尚です。私たちは、「第1次産業就業者を増やす取組や工夫」について質問させていただきます。太宰府市の概要という資料から、産業別就業者という欄を見て質問します。太宰府市は観光などの第三次産業が産業別就業者の多くを占めていますが、第一次産業の就業者の割合は、0.8%となっています。第一次産業の就業



者を増やしたいと思っているのか、また増やすための取り組みや工夫を教えてください。

杉本議長 続いて、16番 岩佐議員の質問を許可します。

岩佐議員 はい。(自席から演台へ移動) 太宰府西中学校 岩佐 美穂です。私は、「校区内の交番設置」について質問させていただきます。私たちは、地域に交番が少ないと感じました。気になって調べたところ、筑紫野市が6か所、大野城市が5か所、太宰府市が2か所でした。地域の面積もあると思いますが、太宰府市は他の市より数が少ないということが分かりました。どうしてこんなに交番の数が少ないのでしょうか。私たちに、交番があるということは、安心できるし、犯罪の防止にもつながると思います。そのためにもっと交番を設置して欲しいと思います。



杉本議長 太宰府西中学校の全質問が終わりましたので、今から、執行部の答弁にうつります。まず、8番 江夏議員の一般質問に対する答弁を求めます。楠田市長さん。

楠田市長 まずもちまして、地域の特性に基づいた多岐にわたる質問をしていただきありがとうございます。さて、皆さんがお住まいになっている太宰府西中学校の地域は、皆様のお父さん、お母さんが小さかった頃に森林を切り開き、長浦台、青葉台、つつじヶ丘、ひまわり台、大佐野台などの住宅地に生まれ変わりました。また、皆様が生まれた頃には、大佐野、向佐野で取り組んだ佐野土地区画整理事業により良好な住宅地が形成されました。このことから、太宰府西中学校の地域では他と比較しても、急激かつ安定して人口の増加が進んできた地域であり、小学校、中学校、地域自治会もたいへん活気のある地域と感じています。

ご質問の歩道については、皆さんが住んでいる住宅地を造成するときに市の担当者と工事業者が当時の交通量や住民ニーズ、ライフスタイルを考慮して道路や歩道の幅を決めて街並みを造ってきました。しかし、住宅地ができた当時は、車は一家に一台でしたが、最近では2台3台所有される家庭が増えるなど、住民ニーズやライフスタイルはとて大きく変化してきており、車中心社会から歩行者・自転車が中心であるべきだと市民の想いも変わってきていると感じています。そこで、市ではこれらの社会変化を考慮して、これから将来へ向けた市民のニーズを把握することに努めながら、市内全域において歩行者をはじめ自転車、自動車が安全に通行できる歩道改良・道路改良を行ってまいりたいと考えています。そのために、住民の皆様、とくに若い世代の皆様の感性を生かしたお声をいただきたいと考えていますのでよろしくお願い申し上げます。



杉本議長 続いて、9番 城代議員、7番 山ノ内議員の一般質問に対する答弁を求めます。  
楠田市長さん。

楠田市長 第一次産業の割合の減少についてご回答いたします。太宰府市は、福岡市のベッドタウンとして人口が増加し、宅地開発のため昭和40年ごろから農地は減少してきました。今後も街なかの農地の宅地化は進んでいく傾向にあります。また、農業に従事する農家の方たちが高齢化して、その跡を継ぐ人たち、農業の担い手が少なくなっているのが現状です。しかし第一次産業の行き過ぎた減少は、食料自給の観点や安全保障上からも問題だと感じており、私も国会議員の時からその減少を食い止めるために力を注いで参りました。国としても農業委員会法という法律を改正してやる気のある農業の担い手に農地を貸したり、新たに農業経営を営もうとする人の農業への参入を促していくような政策を進めています。本市でも、国の補助金を使って、耕作されない田んぼを使って野菜を栽培し、出荷される農家の方に交付金を出したりして、いつでも田んぼで米作りを再開できるような仕組みを作ったりしています。

今後の取り組みとして、観光産業の更なる活性化やふるさと納税の拡大のためにも、太宰府ならではのみやげ物や食事などの開発に力を注ぐことを想定しており、その原材料としての農産物を市内で栽培し、市内の業者で加工し商品化することができないか検討を重ねております。そのためにも、商工会、JA、福岡農業高校、市内農業者、商工業者のみなさんなどに加え、未来を担う若い皆さんにも積極的に協力をいただければと思います。

杉本議長 続いて、16番 岩佐議員の一般質問に対する答弁を求めます。清水副市長さん。

清水副市長 太宰府市における犯罪発生件数は、近年減少しています。具体的には平成19年の犯罪発生件数は1,170件でしたが平成29年には467件と10年間で半分以下になっています。この間、警察の自動車警ら隊による昼夜のパトロールや春日警察署の設置など警察の犯罪への取り組みが強化されました。それに加え、自治会やPTAが防犯パトロールや小中学生の見守り活動など取り組まれたことで、犯罪を起こしにくい環境となり犯罪発生件数が減少したと考えられます。交番を新設する場合は、人口や犯罪発生件数などを考え設置することになってはいますが、犯罪件数が減少していることや新設には多額の費用がかかることから現状では設置が難しいと筑紫野警察署か



ら報告を受けています。しかしながら交番は、地域における防犯を支える施設として、また身近に警察への相談や落とし物の手続きなどができることから福岡県警察に新設の要望を行ってまいります。

最後に本日ご参加の中学生議員の皆様も機会がありましたら、それぞれお住まいの地域で行われております防犯パトロールに保護者の方とご参加いただきますようお願いいたします。

杉本議長 今、執行部の答弁がありました。再質問があれば許可します。再質問がある議員は、挙手を願います。どうぞ。

城代議員 太宰府西中学校の城代です。第一産業就業者を増やす取り組みについて再質問させていただきます。太宰府市の概要を見て平成30年4月1日現在、太宰府市在住の外国人が多くいる事を知りました。近年政府でも問題になっている外国人を労働者としてどう受け入れるかの取り組みに対して太宰府市はどうお考えですか。

杉本議長 楠田市長さん。

楠田市長 私から基本的に答弁をいたしまして、関連については部長から答弁をいたします。市としての方針という点では率直に申してまだ市として外国人の労働者をどう受け入れていくかまた外国人自体の増加について、どのような対応をしていくかということの結論はでておりません。ただ、ご指摘のように近年太宰府市でも外国人のそうした方々が増えている、また観光客としても外国人の方が増えている、このことによって市民の方からさまざまな、不安の声なりお叱りの声をいただいていることも事実であります。今後の対応策を考えていく必要がありますけれども、まずは外国人の労働者の方をどのように受け入れていくかというのは国のほうでも大変な先日国会でも議論がありましたけれども、法律としては通過をいたしました。が実際にどのような具体的な形で外国人の労働者の方々を地方で、もしくは企業でどのように受け入れていくかという詳しい点については、まだ中身としては決まっていらないように聞いておりますし、そうした中で市として方針を出すことは難しいところであります。けれども、これからいわゆる少子化、高齢化といわれる時代の中で働き盛りの世代というのが太宰府市においても減ってきますので、先ほど申したように高齢化が27%を超えておりますし、出生率も上回ってくることはないだろうという今後の予測からしましても、働き手としての外国人の必要性というのは今後やはり本市においても関わってくる可能性はあります。どのような形で、観光客もそうですけれども、共に共存して頂けるか受け入れることを前提にしながら、どのような対応をとるべきか前向きな観点で今後考えていく必要があるのではないか、そのように思っております。以上です。

杉本議長 観光経済部長。

観光経済部長 まず整理をいたしますけども、外国人の就労これは改正入管法が閣議決定いたしましたけども市長が申しましたように、どのような形になるか具体的なものが十分に決まっておりません。我々も注視しながら対処していきたいと思っております。ただ、もし外国人が就労ということになりますれば、それなりの



日本語教育であるとか、悩みごと相談、健康保険はどうするのかとさまざまな問題が生じてくるだろうという風に考えております。この外国人就労につきましては、国際交流担当だけでなく市を巻き込んだ全庁的な対応が必要であろうと考えております。また一番初めの質問の第一次産業、この現状につきましては、外国人就労者を当てにしていけるのかという以前に、担い手が不足しております。農業従事者が高齢化して来て減少しつつあるというのが太宰府の実態でございます。太宰府には農業振興地域というものがございません。お隣の筑紫野市には農業振興地域というのがあるのですが、太宰府には振興地域がないものですから、どうしても農業を主にやっている方の地域というのが限られてきております。平たいところは宅地化になってきております。こういう中で第一次産業というのは、今後市長も申しましたが特産品であるとか、今後資格ができたときにこの太宰府の農産品を使って第一次、第二次、第三次と色んなバリエーションが考えられます。このためにもまず農業の衰退を食い止めること、どこまで食い止めることができるか非常に難しい問題ではありますけども、何らかの手立てをやっていって、まず農業の衰退を食い止めること、活性化を図ること、そしてそのうえで就労する者が誰なのか、外国人なのか、もしくはアイターンなど、担い手という制度がありますので、そういうものを利用して日本の国内から農業をしたい人たちをこちらに連れてきてもらって農業してもらおうとか、様々なやりかたがあるかと思っておりますので、第一次産業の衰退を食い止めることと外国人就労については、今後とも注意深く見守っていききたいという風に思っております。ご意見ありがとうございました。

杉本議長 楠田市長さん

楠田市長 答弁漏れがありましたので、少し補足をさせていただきます。少しずれるかもしれませんが、外国人の就労者の必要性も認めながらも、太宰府市に限らずですが、わが国の中でもまだ、力が活かされていない女性の方なり、定年を迎えた高齢者の方、でも60歳を超えても非常にお元気で経験豊富な方もございます。まずは外国人の就労者に頼る前に、太宰府としてもそうした女性の力をしっかりと生かしていくこと、高齢者の方の経験を生かしていくこと、こういうこともまずは最優先に考えながら、補足的に外国人の就労者のその必要性を考えていくという、その順番も必要ではないかと思っております。以上です。



杉本議長 他に再質問はありませんか。どうぞ。

山ノ内議員 太宰府西中学校の山ノ内尚です。西中校区内の道路の拡幅について再質問をします。先ほど言った歩道が狭いことですが、その歩道は住宅地が歩道と近く自転車で通っていると、人が急に出てきたり段差があったり、バス停で道路が狭かったりします。車道の端のほうを通った場合には一直線なので車のスピードが速く、バスなどが後ろからきて怖いことがあります。なので、ぜひ道路の拡幅を前向きに考えてほしいと思います。もし、道路の拡幅が難しいとなった場合、他になにか対策はしてもらえるのでしょうか。

杉本議長 都市整備部長さん

都市整備部長 毎朝私も隣の市、大野城から吉松を通って市役所に来ていますので、高校生の自転車とかですれ運転の仕方とかを見ていると非常に私自身は安全に気を付けながら運転していて、事故等は起こさないようにと気を付けているところですけども、確かに議員が仰いましたように、市長の答弁の中でもありましたように、佐野の区



画整理でできた地域は歩道幅も2.5mあったり、道路も広いということですけども、吉松の所とかはまだ歩道が昔の1mの歩道しかないという状況もございます。実は地域の方からも要望等はあがっていますが、どうしても道路というのは市全体を同じように安全に安心してとおっていただけるということ必要だと思っておりますので、市全体を見ながら安全に通行できるように、少しずつではございますけども整備はしていきたいと思



っているところではありますけども、全部を一緒にするということができないものですから少しずつではありますけども、皆さんが安心して歩道を歩ける、また自転車を使って遊びに行ったり他の友達の家に行ったりというときも、安全に通行できるようにしていきたいと思っているところでございます。ここで、すぐできますとはなかなか言えませんが、議員が大きくなったころには、選挙権を持つようになったころにはだいぶ進んでいるのではないかなと、まあそのころには私は退職しておりますけども、将来的なものを見据えながら道路とか作っていく必要がございますから、そのことも含みながらご了承というか、ご理解いただければと思っています。

杉本議長 楠田市長さん。

楠田市長 部長から私の代わりに答えにくいことまで答えてもらいましたけども、まずはこうした歩道の拡張についてもそうですけども、道路の整備など予算の問題とか優先順位の問題で難しいという答えだけでは、みなさんのご理解が得られないということも率直に感じておまして、たとえば今回の予算で提案をしたいと思っておりますけども、計画的な道路の改良というものを、みなさんから見やすい形で提示していくことも非常に重要なことだろうと考えております。例えば、5年かけてここからここまで予算をつけていきますとか、10年かけてここからここまでの歩道改良に予算をつけていきますとか、将来的に見通しがあれば、待たれる側からされても少しは理解して頂ける点もあるのではないかなと、いつできるか全く見えないと、急につくかもしれないし、つかないかもしれないということによる、みなさんの不安と現状ある、さまざまな人が急に出てくるとか車がスピードを出しすぎるとか、危険性というのは日々みなさんも感じていることですから、この解消に努めていくのも我々の仕事ですので、仮に歩道が拡張できないとしてもそうした啓発をすとか、運転をする側の方に注意を促すとか、こういうことは短期間でできることもあるかと思っておりますので、そういう普段の努力も行っていきたいと考えております。以上です。

杉本議長 他に再質問はありませんか。どうぞ。

山ノ内議員 再質問は、ありません。ありがとうございました。これで一般質問を終わります。

杉本議長 これで太宰府西中学校の一般質問を終わります。質問者は自席に戻ってください。以上をもちまして、本日の議事日程は、全て終了しました。皆様のご協力のお陰でスムーズに議事を進行することができました。ありがとうございました。ここで、閉会にあたり、副市長 清水 圭輔様よりごあいさつをお願いいたします。

#### 閉会あいさつ (16:10～)

清水副市長 私のほうからご挨拶をさせていただきます。本日は市議会、議場に置かしての体験、議会、いかがでしたでしょうか。皆様各中学校の生徒会の役員ということを知っています。ぜひ今日の経験を各学校に持ち帰って生かしていただきたいと思います。一つですね、みなさんが議長指名されたとき、大きな声で返事をされていました。大変素晴らしいことだと思います。挨拶というのは一番大事なことです。例に始まり礼に終わるといっても、これを太宰府市の職員もこれから肝に銘じて、そうしたあいさつ運動を行ってほしいと思います。本日はご苦労様でした。



#### 閉会宣言 (16:12～)

杉本議長 ありがとうございます。それでは、これもちまして、「子ども・学生未来会議（子ども議会）」を閉会いたします。これから、本日の子ども議会全体を振り返って、樋田 京子教育長様より、ご講評をお願いいたします。

#### 教育長による講評 (16:13～)

樋田教育長 それでは、本日の子ども・未来会議の講評を行います。本日、ここにおられる各中学校の議員の皆さんからは、自分たちの住んでいる太宰府や今とおっている学校や地域の問題について、毎日の生活の中から感じたことや、疑問に思ったこと、あるいは要望事項などを、市長をはじめとする市の執行部に質問したり、意見を述べたり、さらには提言も行っていただきました。そのきびきびとした質問する姿やメモを取りながら真剣に答弁を聞く態度に感心しました。太宰府市の中学生のすばらしさを改めて感じたところです。執行部も、皆さんの意見や気持ちをしっかり受け止め、真剣に考え、誠意をもって答弁しました。皆さんも緊張したと思いますが、実は答弁した私たちもいつも以上に大変緊張しました。



最初の太宰府中学校からは、交通渋滞対策、観光客のマナーの問題、さらには外国人観

光客から観光税を取るのはいかがでしょうかという提案もいただきました。よく練られた具体的な提案であり、質問にあたり太宰府施政方針や総合計画、予算編成方針等を参考にしたとのことで、事前にしっかり勉強されたことにも敬意を表します。通学時の深刻な交通渋滞や身近に出会う観光客からの姿から日ごろ感じている問題を解決すべき課題と捉え、逆転の発想から解決案も提示いただき大変参考になりました。観光税は 8 億円との試算にもびっくりしたところです。ありがとうございました。

続いて、太宰府東中学校からは街灯の設置や公園でのボール遊びの件、そして学校生活の中で一番身近なトイレ環境の問題が質問されました。安全で安心できる街で住みたいというのはすべての市民の願いです。その気持ちを街灯設置という具体的な提案で代弁していただきました。皆さんの最大関心事であるボール遊びについて、禁止はなぜ？どうにかできないのかという率直な疑問をぶつけていただきました。また、学校のトイレの問題については、トイレに行って気分を悪くする人もいるということで、答える私も大変心苦しく、改めて皆さんの気持ちをしっかりと受け止めたところです。ありがとうございました。

次の学業院中学校からいただいた、太宰府に新しいテーマパークをというインパクトのあるアイデアやとびうめアリーナ付近に競技場をという枠にとられない提案は、まさに若い世代を代表する大胆で貴重な発想であったと思います。こういう若い発想が太宰府市を変えていくものであると感じた次第です。一方、置き勉に関する質問は、日常生活における皆さんの困り感を代表するものであり、答弁した私もより一層皆さんの気持ちに寄り添っていかねばならないと思いました。ありがとうございました。

最後の太宰府西中学校から出された歩道を広くできないか、また交番の設置をという要望は、安全に通学できる学校や安心して生活できる地域が大切であるとの気持ちが強くうかがえました。またテレビ等で報道されていた、第一次産業への就業者割合の減少に関心をもち、太宰府市の現状について質問するなど、中学生として広く社会情勢に関心を持とうとする姿勢にも、これからの未来を担う皆さんの心意気と、力強さを感じました。ありがとうございました。

最初の市長あいさつの中にもありましたが、皆さんは初めての太宰府市子ども議会の議員であり、歴史に残る先駆者です。皆さんには、これからの日本や世界、そして何よりもここ太宰府は自分たちが担っていくのだという気持ちを持っていただき、身近な問題にも目を向け、自分なりの考えを作り、さらには根拠をもって自分の考えを発信し、相手を説得する力を身に着けていかれることを願っています。本日の事前指導では、若者の投票率が低いという話がありました。まずは、皆さん方には 18 歳になったら必ず選挙に行っていたいただきたい、皆さんの学校、学年の生徒さんは投票率が高いといわれるようになったらこれほど嬉しいことはありません。

今日はたくさんの質問や提案をいただき、本当にありがとうございました。

ご指導・ご支援をいただきました先生方や、保護者の皆様、応援いただきました議会の

皆様、関係者の皆様にも深く感謝申し上げ、意を尽くしますが、子ども未来会議の講評とさせていただきます。皆様ありがとうございました。

杉本議長 ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、本日の全ての日程を終了いたします。なお、理事者の方々、傍聴席の方々、長時間、ご協力ありがとうございました。どうぞご退席ください。



社会教育課長 最後に記念撮影を行いますので、子ども議員と三役の皆様方は、議場中央にお集まりください。

※三役と子ども議員記念写真撮影（16:20～）

※アンケート記入後退場（16:25～）

※議場外にて楠田市長サンタより子ども議員へクリスマスプレゼント配布（16:35～）

# 写真集

## ～事前研修会から舞台裏まで～

＊事前研修会の様子＊（庁議室）



↑市長の施政方針を勉強中！！



↓実際に議場を見学







↑実際に議長席を体験！ 少し緊張？



↑市長からレクチャーを受ける子ども議員



市長室での記念撮影のサプライズ！



\*子ども議会当日\* (控室での子ども議員の様子)



↑ 本日の流れをレクチャー中 (少し緊張?)



↑ 中学校ごとに、もう一度確認。





\*一日子ども議員当選証書授与\* (全員協議会室)



↑本物の議員の方々との対面式



↑本物の議長から一人ずつ当選証書授与！！





\*子ども議員バッチ付与の様子\* (全員協議会室)



↑一人ずつ子ども議員バッチを付与



↓バッチを付け更に凛々しい面立ちに！



\*子ども議会の様子\* (議 場)



↑子ども議員入場！！(議場内拍手でお迎え)



↓子ども議長の進行で議会が進行していきます







↑子ども議員と執行部がお互いに本気で  
討議します！



↓学校の先生や保護者も見守ります



↑再質問でもしっかり発言できました。



閉会後に議場で記念撮影。



\*最後に市長からのサプライズ\* (議場出入口前)



皆さん、本日はお疲れさま。メリークリスマス！



学校や地域でもがんばって下さい！



子ども・学生未来会議の当日がクリスマスだったこともあり、市長サンタからのサプライズプレゼント！  
プレゼントと市長サンタからのメッセージカードも！



\*会場準備や受付など\* (記録写真)

